

仙台市議会

市民ファースト仙台
会派ニュース

発行人：柳橋 邦彦 編集人：加藤 けんいち 〒980-8671 仙台市青葉区国分町 3-7-1 TEL.022-703-0504 FAX.022-714-2320

市民ファースト仙台 5つの視点

1 子供 ファースト

子育て支援環境の
充実と教育改革

2 福祉 ファースト

市民福祉の充実と
市民協働のまちづくり

3 安心 ファースト

安心・安全の仙台版
防災対策とインフラ整備

4 地元 ファースト

地元中小企業への支援など
地域経済の活性化

5 市民 ファースト

市民満足度の向上に
向けた行財政改革と
市議会の活性化

市政に対する基本認識

私たちは今回、会派の基本政策を改訂し、郡市長に提言するとともに、市民に向けて発表しました。市民が第一、市民ファーストの立場に立って、当面する市政の諸課題に対し、実現可能な政策、着手できる政策を中心とした提言です。

「子供」、「福祉」、「安心」、「地元」、「市民」は、いずれも市政にとっての重要課題であり、いずれもが第一に取り組むべき課題です。したがってこの政策は、決して1から5の優先順位をつけたものではありません。

私たちは今後、市議会の他の会派や市長や行政当局などと協力しながら、これらの政策の実現に全力で取り組んでまいります。

5つの視点に基づく基本政策

1【子供ファースト】 子育て支援環境の充実と教育改革

- (1) 議員提案を踏まえた実効性のある「いじめ防止条例」の策定
- (2) 財源対策に十分配慮した、市立学校への計画的なエアコンの設置
- (3) たくましく生きぬく力を養うとともに、次世代のための道徳教育の強化
- (4) いじめ根絶に向けた学校内外やクラブ活動などを通じた取り組み
- (5) 学校支援地域本部の対象校拡大と、地域一体となった教育環境の充実
- (6) 教職員が子どもと向き合う環境づくりに向け、35人学級の段階的拡大
- (7) 待機児童の解消に向けた民間活力の導入、ならびに事業所内保育所の拡充
- (8) 放課後児童健全育成のための各種事業の充実
- (9) 教職員の負担軽減に向け、中学校の部活動に対する部活動指導員の配置促進
- (10) 不登校対策のため受入教室の環境整備、およびスクールソーシャルワーカーの増員



市内有数の大規模校である富沢中学校

2【福祉ファースト】 市民福祉の充実と市民協働のまちづくり

- (1) 地域包括ケア体制の充実と介護保険サービス施設の着実な整備
- (2) 認知症対策をはじめ介護予防事業および健康づくり・生きがいづくり事業の拡充
- (3) 健康診断の受診率向上および生活習慣病予防などの徹底
- (4) 市立病院の機能強化、ならびに北部地区の小児救急拠点の整備
- (5) 障がい者差別の解消に向けた一層の取り組み、および障がい者雇用率の向上
- (6) 病児・病後児保育および休日保育環境の充実
- (7) コミュニティソーシャルワーカーの拡充による地域ネットワークの形成
- (8) 働き方改革の推進と「ワーク・ライフ・バランス」の啓発促進
- (9) ひとり親家庭に対する子育て支援策の充実



3【安心ファースト】 安心・安全の仙台版防災対策とインフラ整備

- (1) 国民保護計画に基づく避難訓練の定期的な実施
- (2) 法改正を踏まえた、災害時における県から本市(政令市)への権限移譲の速やかな実現
- (3) 地域コミュニティの自助・共助を促す市民センター及び区役所との連携強化
- (4) 治山治水対策を踏まえ、豪雨や台風に対する計画的な雨水対策の推進
- (5) 県の広域防災拠点の本市としての有効活用
- (6) *1VPP技術の活用など本市特有の防災環境配慮型エネルギー政策の構築
- (7) 地下鉄東西線の駅周辺の整備と沿線街づくりの促進
- (8) 鉄軌道・バス・コミュニティ交通の効果的連携による公共交通体系の構築
- (9) 公営企業として続ける部分と社会政策的部分とに事業を分けるなど、本市バス事業の思い切った見直しと再生
- (10) 集団移転先や復興公営住宅における見守り事業の充実、ならびにコミュニティ形成支援
- (11) 集団移転跡地の一層の有効活用、および農業の再生など復興事業の速やかな完成
- (12) 警察や関係団体などと連携した、子ども・女性・高齢者を守る防犯対策の充実
- (13) 外国人居住者に係る相談窓口の明確化と充実



東部海岸部の集団移転跡地



4 【地元ファースト】 地元中小企業への支援など地域経済の活性化

- (1) 次世代放射光施設整備を活かした裾野経済の育成と支援
- (2) IT・AI・IoTなどの産業誘致と地場産業とのマッチングの促進
- (3) 第二創業の開発と推進による事業継承の促進支援
- (4) 中小企業活性化基金の利活用と、地元優先発注の強化ならびに結果の公表
- (5) 学生の地元定着と人材確保に向けた、中小企業向け仙台版奨学金制度の早期実現
- (6) 起業しやすいまち仙台に向けた起業家育成策の充実
- (7) インバウンド・アウトバウンドの一体的な取組みによる国際観光交流の拡大
- (8) 仙台・福島・山形三市連携、および東北六県の広域連携による観光ルートの開発
- (9) 仙台空港、仙台港の積極活用による交流人口の拡大
- (10) エリアマネジメントによる道路空間の有効利用など国家戦略特区の積極的活用
- (11) 市民の回遊性向上に向けた、ペDESTリアンデッキの延長と地下街の形成
- (12) 楽都仙台にふさわしい音楽ホールの整備
- (13) 地元ものづくり企業の海外販路開拓支援の強化
- (14) 賑わいの創出・経済活性化につなげる文化芸術政策の推進
- (15) 都市型農業の活性化、ならびに地産地消の取組みによる販路・消費の拡大



東北放射光施設のイメージ図
提供：(一財)光科学イノベーションセンター

5 【市民ファースト】 市民満足度の向上に向けた行財政改革と市議会の活性化

- (1) 市民サービスの向上と相談窓口の一本化に向けた、「ワンストップコールセンター」の速やかな設置
- (2) 公務の民間委託の推進、ならびに外郭団体への天下りの更なる削減
- (3) 高齢者世帯などへのサービス向上に向けた、「出前サービス制度」の導入検討
- (4) 「いわゆる市役所体質」の改革とコンプライアンスの遵守
- (5) 労働時間管理の徹底による人件費コスト意識の醸成
- (6) 市民により身近となる区役所の財源と権限の一層の拡大
- (7) 町内会など地縁団体を中心としたまちづくりの推進、ならびに各区のふるさと支援員の増員
- (8) 若者の活力を引き出すアクションプランの策定
- (9) 民間のデザイン力を活かした市政だより編集の民間委託
- (10) 財源確保に向けた効果的な行財政改革の促進



*1 VPP

仮想発電所（バーチャルパワープラント）、蓄電池等の複数の設備から生み出されたエネルギーをICT技術により集約し、あたかも一つの発電所（仮想発電所）のように機能させその操作も遠隔制御で行うもの。

*2 第二創業

既に事業を営んでいる中小企業・小規模事業者において、後継者が先代から事業を引き継いだ場合などに業態転換や新事業・新分野に進出すること。



平成30年10月22日 郡和子市長に会派の基本政策を提言

●10月31日泉区長に31年度予算要望を行いました。

おの でら 健は、区民1人ひとりが安全・安心で安定した生活、活力あるまちづくりを実現するために新年度予算に反映されるよう強く要望しました。内容については以下のとおりです。



「鈴木泉区長」に要望を手渡す

2.各区における要望事項

No	区	要望事項	要望内容	担当局
1	泉区	住民参加型の緑地管理と街路樹の適正な処置及び公園の維持管理	<ol style="list-style-type: none"> パークマネジメントの実施に伴い管理面積に見合った予算配分を行い、近隣住民参加型の緑地管理を進めるなど公園利活用においては前例にとらわれず積極的な取り組みを求める。また、公園管理については積極的に地域との連携を進める。 老化した街路樹の適正処理及び再整備等の際は、樹種などについて地域と十分な協議を行うこと。 長命館公園、七北田公園、桂島緑地などの公園の管理は利用の安全対策を図るとともにトイレ設備の洋式化への改修や施設の改修・維持、樹木の剪定に関して予算化し取り組むこと。 	泉区建設局 市民局
2	泉区	政令市移行後30年泉区役所庁舎の再整備、市民センター、コミュニティセンター等の整備・充実、設置基準の見直し等	<ol style="list-style-type: none"> 仙台市と旧泉市が合併し30年を経過し、31年度は政令市になって30年の記念すべき年になる。合併に関する検証や合併の成果について区民もまじえ総括を行うこと。 区役所庁舎の再整備にあたっては敷地の有効活用も含めて泉中央地区の回遊性の向上・活性化に資する観点で取り組むこと。 泉区内には従来基準(市民センターは中学校区、コミュニティセンターは小学校区)ではおさまらない泉パークタウン紫山地区、明石南地区等の地域がある。地域からは再三要望があがっている基準設置の見直しを求める。公共施設総合マネジメントプランを弾力的に運用し設置基準についても地域の要望に応えて建設に向けて取り組むこと。 市民センターの地域優先利用については地域に寄り添った対応を求める。 泉総合運動場の屋外プールの修繕・再開について迅速に取り組むこと。 区長裁量予算について拡充を求める。 	財政局 市民局 泉区
3	泉区	安全な通学路の確保・点検及び歩道の整備	<ol style="list-style-type: none"> 加茂、松陵、泉ヶ丘、向陽台など各地域から要望がある通学路の危険箇所に関しては児童・生徒の安全確保を図るため早期整備を行うこと。 高森、寺岡、桂、紫山地区をはじめ区内には通学路において街路樹の根が隆起し歩道においてアスファルトに凹凸がみられる箇所が数多くみられる。現場を確認し根上がり箇所の修繕を早期に計画的に実施。 区内各町内会から要望のある草木の剪定、除草、草刈りなどについて必要な策を講じること。 「古屋敷橋」から西方の七北田川と並行に走っている市道、加茂2丁目12番地北側には違法投棄のゴミなどが散見される。ごみの排出、注意喚起、パトロールなどできる手立てを講じること。 	泉区環境局 教育局 建設局 都市整備局
4	泉区	保育環境の整備と放課後児童健全育成事業の充実	<ol style="list-style-type: none"> 公立保育所において休日保育に取り組むこと。 現況、いわゆる学童施設において需要に追いつかない地域がある。この課題解決に向けて早急に取り組むこと。民間事業者の誘致や運営支援策を検討すること。 保育環境の整備は利用する子どもファーストで取り組むこと。 	子供未来局 泉区
5	泉区	下水道や農業用水などで使用の調整池の適切な管理	<ol style="list-style-type: none"> 雨水排水環境の改善策として、排水弁の定期的な清掃を求めるとともに地域の理解を得て区民協働で取り組む仕組みを構築すること。 地域では風水害発生時のため池、調整池について不安な声があがっている。不安払拭のため定期的な広報周知を行うことや区内調整池では長年手付かずで危険な箇所が多数あり一斉点検を行いフェンスの修繕、樹木の伐採、草刈など早急に対応すること。 	経済局 建設局 泉区

No	区	要望事項	要望内容	担当局
6	泉区	地下鉄泉中央駅周辺渋滞対策及び安心・安全なまちづくり	<ol style="list-style-type: none"> 街区の整備とともに慢性的な渋滞が深刻な泉中央駅周辺(将監トンネル、野村徳州会病院前、七北田、八乙女地区を含む)の渋滞緩和対策を進めること。 バスターミナルの新設を含めた交通結節機能の強化及び地下鉄泉中央駅からの延伸について調査・検討すること。 泉区内の宮城交通のバス路線は減便が進み地域住民に深刻な問題となっている。区としても主体性をもってバス路線の維持に努めること。 町内会等から要望のある信号機設置要望箇所(荒巻大和町線ダイシン桂店北側交差点、大沢1丁目公園前、加茂4丁目、松陵4丁目)は粘り強く警察に早期整備を促すこと。 みずほ台・八乙女地区に交番を新たに設置すること。 区内各所に見られる法定整備にかかる停止線・歩道識別線等の薄くなった白線は通学路を最優先に集中的な対応をすること。また、法定外整備においても仙台市が主体となって取り組むこと。 泉中央地区にある多数の案内看板は一部改善はしているが必要な予算措置をとり早急に改善をすること。 老朽化した橋梁は多く早急に調査・点検を行い、計画的な対策を実施すること。 根白石地域の隣接する地域においては泉パークタウン第6期造成が予定されていて交通量の増加が想定される。交通政策として安全対策、渋滞対策に取り組むこと。 	都市整備局 建設局 市民局 泉区
7	泉区	住宅団地・地域の高齢化対策	<p>今や市内でも最も加速する高齢化の進行に対し</p> <ol style="list-style-type: none"> 地域コミュニティの活性化と機能維持のため地域と区役所との連携強化を図ること。 保健センターと連携した地域包括ケア体制づくりを図るとともに要介護予防や健康づくり事業を区内全域でバランスに配慮し積極的に取り組むこと。 市民利用施設の備品は足腰に不安のある高齢者に配慮したテーブルやイスの配備に切り替えること。 買い物に困難な住民に対し、民間企業と連携を図るなどして問題解決に向け努力すること。 現在、生活実態のない住宅に関して状況を把握し市外からの移住希望者・転入者に仲介するなど、空き家が放置されることのないよう対策をはかること。 	都市整備局 泉区市民局 健康福祉局
8	泉区	東北学院大学泉キャンパスの移転対策	<ol style="list-style-type: none"> 黒字路線を失う宮城交通バスは経営環境が一層きびしくなり、路線バスの維持に関して不安が広がっているため早急に対策を練ること。 飲食店、物販店等をはじめ学生アルバイト、不足も深刻になると予想される。商工会など区内商工業者と連携を図り、対策を準備すること。 アパート群も千戸単位で空室となることが予想されるが、空室地域の発生抑制策とともに泉キャンパス跡地の有効活用を当該地域と連携して取り組んでいくこと。 	都市整備局 泉区市民局 経済局

仙台市議会議員 おの でら 健 プロフィール

昭和47年3月29日 仙台市に生まれる。AB型。

■学歴

泉市立加茂小学校(5期生)卒業
 泉市立加茂中学校(6期生)卒業
 仙台高等学校(42期生)卒業
 大阪芸術大学芸術学部(学士)卒業

宮城大学大学院事業構想学研究科(修士)修了
 東北大学大学院工学研究科博士後期課程退学

■職歴

株式会社藤崎に入社し社会人生活をスタート。
 会社役員、NPO法人理事を経て
 仙台市議会議員(平成19年初当選。平成23年・平成27年再選)。
 議会においては現在、健康福祉委員会委員長、
 子育て環境調査特別委員会委員長。
 会派においては市民ファースト仙台幹事長代理。

■家族

父・母・妹(加茂地区在住)
 妻・長女・長男(泉パークタウン在住)

愛する仙台のため日々頑張ります。これからもよろしくお願ひします。



おむすびシートとともにこれからみなさんの想いと市政をしっかりとつなぎます